

プレスリリース

令和5年10月25日

報道機関 各位

独立行政法人国立高等専門学校機構
仙台高等専門学校長 澤田 恵介

「夢」実現プロジェクト実施報告会を開催します

高専生×夢×1000万円！仙台高専は、本気で学生の「夢」を応援します！！

仙台高等専門学校広瀬キャンパスは、企業様から頂いた寄附金1000万円を原資に、「夢がある、時間もある、仲間もいる」そんな学生達が「夢」の実現に向かってチャレンジできるプロジェクトとして『「夢」実現プロジェクト』を実施しております。

本プロジェクトは、コロナ禍で活動が制限されていた学生が「やりたいこと」にチャレンジしてほしいという学校の想いから立ち上がり、学生自身が取組みについて企画・立案の上、活動することで、学校生活の充実化や主体性・積極性が向上することを目指しております。昨年度から実施した第1弾については、42件の応募があり12件が採択されました。

このたび、第1弾「夢」実現プロジェクトにて実施した取組みの内4件について、実施報告会を開催いたします。報告には、「高専ロボコンで優勝したい」といった高専ならではの取組みもあります。

つきましては、市民の皆さまに広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面・番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

記

- 日時
令和5年10月28日（土）12時00分から13時00分
※同日は、本校高専祭を開催しております。
- 場所
仙台高等専門学校 広瀬キャンパス
(〒989-3128 仙台市青葉区愛子中央4丁目16番1号)
- 詳細
別紙をご参照ください。



【本件に関するお問い合わせ先】

《イベントの詳細に関すること》

仙台高等専門学校（広瀬キャンパス）
企画室企画運営係
TEL: 022-391-5506
E-mail: kikaku2@sendai-nct.ac.jp

《報道に関すること》

仙台高等専門学校（広瀬キャンパス）
総務課広報係
TEL: 022-391-5554 FAX: 022-391-6144
E-mail: koho@sendai-nct.ac.jp

【別紙】

・プロジェクト誕生秘話

今から2年前に、ある企業様から「仙台高専の学生のために使ってほしい」と多額の寄附をいただきました。高専で受け入れる寄附金は共同研究などの研究開発を主とするものが大半であり、学生のために使うことを想定した多額の寄附の例はほとんどありませんでした。そこで、学校として、**学生の夢実現のための資金**として利用することとし、「夢」実現プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは他の高専には類のない仙台高専独自のものであり、今後も継続して学生の夢実現に向けてサポートをする予定です。

・初めての報告会開催

第1弾「夢」実現プロジェクトでは、42件の応募があり12件を採択しました。今回はそのうち4件のプロジェクトについて学生より報告を行います。

1. 高専ロボコン全国制覇プロジェクト

全国制覇どころか、東北地区大会の優勝さえも21年前となってしまった仙台高専チームが10月8日のロボコン東北地区大会では、優勝を果たしました。本当に全国制覇ができるかもしれない復活劇を報告！！

2. Unity を用いたゲーム制作プロジェクト

将来はゲームクリエイターを目指す女子学生の成長の記録！

3. 画像から路面の劣化を検出してデータを収集・分析するシステム開発制作プロジェクト

自分たちの地域の道路を自分たちで保全し、地域の安全を守る、そんなシステム開発で起業を目指す、若きエンジニアの奮闘記！

4. 仙台高専応援団復活プロジェクト

コロナ禍で応援団活動を自粛することを余儀なくされ、伝統が途切れてしまい一時は廃部の危機さえささやかれた応援団。その逆境を乗り越え新生仙台高専応援団が誕生！当日は演舞を披露します。



第1弾
夢 実現プロジェクト
 実施報告会
 ~「やりたい」から「できた!」~

開催日時 10月28日(土) 12:00~13:00
 会場 広瀬キャンパス視聴覚室 (2-102)

プログラム

1. 「夢」実現プロジェクト概要説明
2. 高専ロボコンで優勝したい(報告)
3. Unityを用いたゲーム制作(報告)
4. 全国高専ディープラーニングコンテストで優勝し、起業したい(報告)
5. 第2弾「夢」実現プロジェクト一次審査結果発表
6. 応援団の伝統を引き継ぎさらに発展させ応援団の活動を活性化し、応援することで仙台高専全体を元気にしたい(報告)

※プロトは 「夢」実現プロジェクトこと通称「夢プロ」は、企業様から頂いた寄附金を原資に、**仲間もいる** “夢がある、時間もある、仲間もいる” そんな学生達が「夢」の実現に向かってチャレンジできるプロジェクト。

問合せ先 企画室企画運営係 (kikaku2@sendai-nct.ac.jp)

発表者からは、開発秘話や実機のデモンストレーションを行っていただきます。若きエンジニアたちの柔軟な発想力と行動力を、ぜひ取材にきてください。

